

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 3 月 6 日作成)

小委員会名	地域居住小委員会		主 査 名：真野洋介 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)		委員長名：松村秀一 主 査 名：菊地成朋
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域居住に関する研究フィールドの設定</li> <li>・地域居住に関する対象地域、事例におけるケーススタディ</li> <li>・地域居住に関する問題意識の共有と議論の展開</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	真野洋介 (東京工業大学) 新井信幸 (東北工業大学) 藤岡泰寛 (横浜国立大学) 阿部俊彦 (早稲田大学) 片岡八重子 (ココロエー級建築士事務所) 小杉 学 (愛知産業大学) 杉崎和久 (フリー) 谷口尚弘 (北海道工業大学) 野田明宏 (象地域設計) 原田陽子 (福井大学) 肥田大祐 (首都圏総合計画研究所) 森重幸子 (京都大学) 安武敦子 (長崎大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回
刊行物 (シンポジウム資料 等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セ ミナー・研究会・見 学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と 得られた成果との関 係)	1. 研究フィールドについては、震災復興等で展開がはかられた。 2. 対象地域、事例のケーススタディについては一定の蓄積を得た。 3. 問題意識の共有と議論については、いくつかポイントを絞ることができた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. これまでの議論と論点を可視化し、OS やシンポジウム等を行う必要がある。 2. ケーススタディと論点、テーマの関係を整理する必要がある。 3. 震災復興等、現場での実践に向けた連携体制を確立する必要がある。